



第9回 四万十川桜マラソン大会

3月26日、四万十川桜マラソン大会が開催されました。スタート時はあいにくの雨でしたが、ゴールに向かうにつれ雨もやみ、1,370名のランナーが四万十川沿いの42.195kmの「走ル旅」を無事終了しました。

今大会は桜が咲き誇る大会にはなりませんでした。風は例年ほど強くなく、ランナーにとっては走りやすい環境だったのではないのでしょうか。前夜祭を含め、参加者には四万十町のPRと町民の温かいおもてなしに、ついつい笑顔が溢れる大会となりました。ランナーの皆さま、本当にお疲れさまでした。

また、大会を支えていただいた大勢のボランティアの皆さまをはじめ、本大会にご協力いただきました皆さま方に心より感謝申し上げます。

【結果報告】

男子総合順位

順位	氏名	県名等	タイム
1	植田 和久	土佐市	2:34:42
2	池田 幹広	岡山県	2:38:48
3	上杉 拓也	東京都	2:40:42
4	竹田 良太	高知市	2:42:48
5	高見 恭平	岡山県	2:44:06
6	野中 健史	愛媛県	2:44:46

女子総合順位

順位	氏名	県名等	タイム
1	吉良 晴菜	四万十町	3:13:35
2	田村 美香	愛媛県	3:14:58
3	和氣 千夏	四万十市	3:15:44
4	松原 仁美	広島県	3:16:03
5	福原千帆海	安芸市	3:17:02
6	十河 清世	高知市	3:20:23



民泊者数	前夜祭来場者数	ランニングクリニック受講者数
25人	173名	44名

実行委員長お礼

ボランティアの皆さまや沿道で声援を送っていただいた地域の皆さま、ご協力ありがとうございました。この大会は、雄大な四万十川と沈下橋、桜並木、新緑が相まって全国に誇るロケーションの大会です。今後とも大会の発展のため、ご支援・ご協力をお願いします。

季節の風景 5月

旬の苺



イチゴはバラ科の多年草の一種で、正式にはオランダイチゴ属に含まれます。ところで、このイチゴは赤くて愛らしい姿をしています。私たちが食べている部分、実は果実ではなくて花托の発達した花の一部で、本当の果実はその周りにある胡麻のような粒々一つ一つがそうなんです。一般的に果物の人気者ですが、メロンやスイカと同じく植物の分類や農業上では野菜です。これは、日本では果物は「木」になる物であって、「畑」で作る草木類は野菜と定義しているからです。

イチゴはハウス栽培が盛んで、12月後半から2月にかけて出荷量が多くなります。その理由は、クリスマスケーキに使用するからです。本来は、春先から初夏の時期に旬を迎えるイチゴですが、最近はすっかり冬のイメージが強くなりました。

余談ですが、毎月22日は「ショートケーキの日」なのですが、理由がちよっとオシャレなんです。22日の一週間前は、15日です。カレンダーで見ると・・・。22日の上には、イチゴ（15）が乗っているからなんです。

今月の



ゆるく考える。でもちゃんと考える。でもやっぱりゆるくいいこう。



▲時には町長との懇談も!

十和に「お嫁さんに来た」高知市出身の酒井紀子さん、NP O職員として夫婦でインターンした香川県出身の佐々倉愛さん、町内企業にインターン就職した高知市出身の夫とともに十和で暮らす徳島市出身の刈谷明子さんの3人で「組織した?」というより「寄り集まった?」さんの会。

が失われてしまったと言われて久しいのですが、その「三つの間」を大切にしながらの子育てに、ゆるく共感し合っているお母さんたちの会ということ。漢字で表すと「なんだか硬い」ということで、ひらがな表記に。

そもそも始まりは、子育て支援センターで、有機農業を営むある先輩インターンのお母さんと酒井さんが出会ったのがきっかけ。そのお母さんを通じて佐々倉さんと出会い、さらに刈谷さんと出会いました。自然の中で、自然に揉まれながら、子どもと育ち合っていたと思うお母さんたちが、まさに自然に意気投合して早や5〜6年。5〜6年という適当な年数は「あんまり正確に覚えていない」という彼女たちのゆるさゆえ。

んお父さん目線に立った町政懇談なども企画してきました。リーダー的存在である酒井さんが企画立案することが多いというのですが、それを肉付けして実行していくという役割を果たしてあまりある能力とキヤクターの佐々倉さんと刈谷さん。彼女たちが生み出す独特の空気感、不思議な居心地の良さをもっています。各々に意志があるのに、他に対する「否定」のない空間。それが自然にできているように見えてしまふところにも、彼女たちの意識の高さを感じます。そんな居心地の良さと、向上心にくすぐる環境の魅力は、彼女たちの活動に参加する方たちを見ているとよくわかります。さんまの会は、ちゃんと考えて、動いてみて、ちゃんと学んでまた考える。私のペース。あなたのペース。とっても魅力的な「寄り合い」です!



▲左から 佐々倉さん、酒井さん、刈谷さん

さんまの会
(十和地区)